

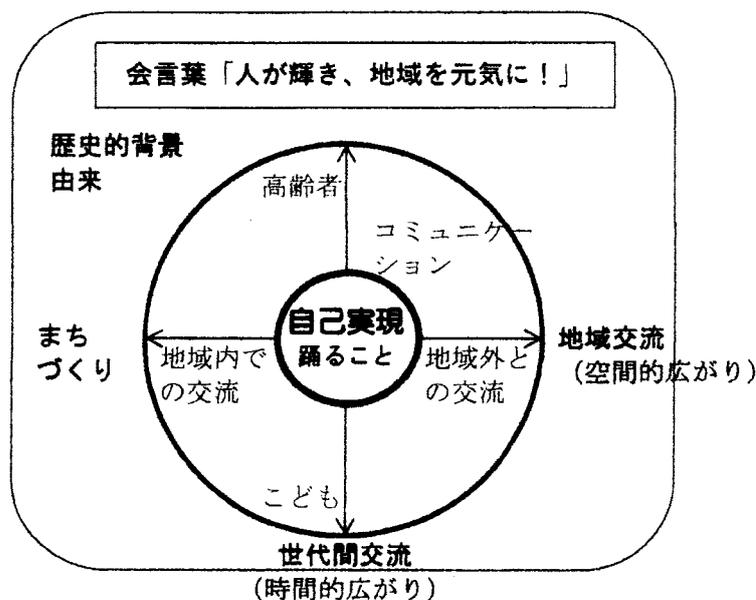
平成 29 年 2 月 24 日

「堺すずめ踊り協賛会」活動 10 年のコンセプト

堺すずめ踊り協賛会 前田秀一

■ “堺すずめ踊り” 取組みの特徴

- ・ (偶然の) 新しい発見が, 新しい取組につながっている
- ・ 歴史的背景・由来などの必然性もある
- ・ 踊ること, ダンスが自己実現 (生きること) につながっている
- ・ 子どもから高齢者までの世代間交流につながっている
 - ⇒ 地域内のコミュニケーション⇒ まちづくりにつながる期待
- ・ 仙台など地域外との交流につながって, これも地域のコミュニケーションにフィードバックされている



■ キーワード

活動の背景・概要

- ・ 伝説の発見・発掘
- ・ 堺にはなかった新しい取組であったこと

活動における創意・工夫

- ・ 組織的に進めたこと
- ・ まず知ってもらうところから (PR)
- ・ モチベーションの維持 (ハレの舞台演出)
 - 大阪天満宮「初踊り」奉納 (2月)、大和川水辺の楽校 (5月)、仙台・青葉まつり (5月)、方違神社秋祭り (9月)、アセアン交流 (10月)、堺まつり (10月) ほか各区区民まつり、諸団体主催行事
- ・ 歴史・伝説・由来 (必然性) と踊りの魅力 (楽しさ) の PR

活動の成果・波及効果/現在の活動状況

- ・ 地域内外での踊りへの認識が進んだ
- ・ 東日本相地震被災地支援 (物販・展示会等 PR 協賛出演、仙台郷土芸能紹介)
- ・ 被災地との交流 (「仙臺すずめ踊り連盟」との交流)
- ・ まちづくりにつながっていく
- ・ 推進体制・組織の見直しを必要に応じて進めている
- ・ 受賞、記念樹の植樹に効果があった (堺市内外での知名度向上)

以上